



Kitsuki Shigikai
Dayori

きつき市議会だより

令和元年 8月15日発行

特集

「こども食堂」
「第3の居場所」



家でも学校でもない
「地域の子どもたちのもう一つの家」

6月26日(水)

16:00 おやつ

17:00

あそぼう

18:00

食事の準備

19:00

歯みがき

そうじ 学習

よみ聞かせ

20:00

ゆっくりすごす

20:30

お迎え 片付け

21:00

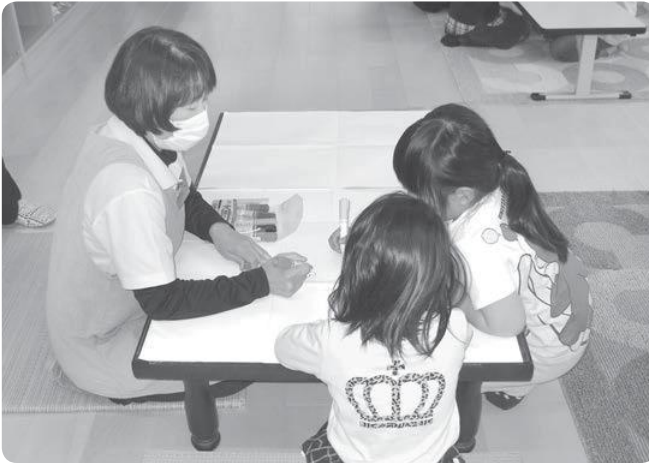
さようなら

2019

8

NO.53

特集「こども食堂」 「第3の居場所」



杵築市の「こども食堂」の現状

平成30年7月4日に大内・東各地区公民館にて杵築市初の夕食を提供する「こども食堂」がオープンしました。地域の子どもたちを地域で見守り、育てていこうと社会福祉協議会が立ち上げました。子育て中の親子を対象に、地元の食材を生かした食事を提供しています。両地区とも、毎月第1・3水曜日に開催し、おいしい食事だけでなく、勉強や遊びを通して成長できる居場所になっています。

「第3の居場所」オープン



また、平成31年4月26日には家でも学校でもない、もうひとつの家「第3の居場所」が当市でオープンしました。子どもたちが安心して過ごし、手作りのご飯を食べるという、子どもにとってはごく基本の生活はもちろんのこと、大人の目が行き届く環境で、学習習慣の定着を図るとともに、同世代の友達や大人との信頼関係を築きながら、生活習慣や他者への思いやりを学べるよう支援しています。今回、「第3の居場所」にお伺いし、運営されている「NPO法人こどもサポートにつこ・にこ」のスタッフの方々に活動内容等についてお話を伺いました。

運営日・時間は？

平日 16:00～21:00
*土曜、日曜、祝日、年末年始は実施しない

定員は？

1日あたりおおむね20名程度

対象者は？

市内の小学生
*校区の制限を設けない

利用料は？

1回300円
*利用には事前登録が必要(審査あり)
*生活保護世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯、市町村民税非課税世帯については利用料を免除。

登録児童数は？

44名(令和元年6月24日現在)

職員体制は？

- ・運営スタッフ3名
- ・調理スタッフ2名
- ・学習支援スタッフ1名
- ・非常勤ソーシャルワーカー1名

実施内容は？

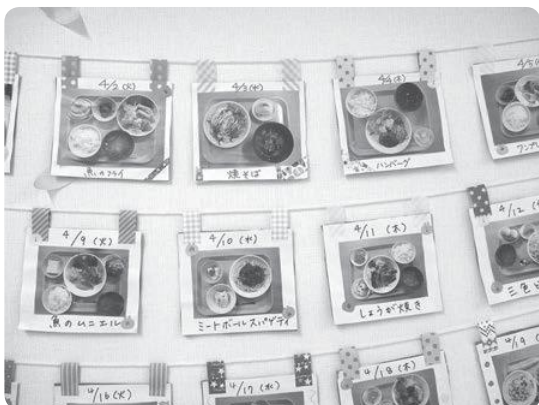
- ①体験学習・運動プログラム
- ②学習補助
- ③基本的な生活習慣の獲得
- ④世代間・地域間交流など

1日の流れは？

16:00	補充学習 自由時間
18:00	食 事
19:00	ミニイベント 読み聞かせ のんびりタイム (カードゲームなど)
20:30	帰りの準備
21:00	



多様化する社会のなかで、子どもたちの自立を支援する活動は非常に素晴らしいことだと思っています。また、放課後や休日の子育て支援については、共働きの世帯を対象にした「放課後児童クラブ」が一般的ですが、「第3の居場所」は、この制度ではまかないきれない範囲まで活動を拡大すること、子どもたちにとっても保護者にとっても利用しやすい環境を整えています。今後は保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校と連携し、充実した活動を行える施設であってほしいと感じました。



ちょっと良い話

6月24日に杵築市関連の記事が、河北新報※に掲載されましたので、掲載記事原文のままご紹介いたします。

※河北新報（かほくしんぱう）宮城県仙台市に本社を置く河北新報社が発行する日刊新聞であり、宮城県を中心に東北6県で販売されています。＊著作物利用許可済

河北春秋

大分県北東部にある杵築市は、東日本大震災から2カ月後、気仙沼市唐桑町に職員を派遣した。22人が交代しながら228日間、小原木中体育館で支援に当たった▼杵築市子ども子育て支援課の都甲秀幸さん（46）もその一人。先月、唐桑町の住民を誘い、10人と仙台市でプロ野球東北楽天戦を初観戦した。きっかけは杵築市出身、平石洋介監督（39）の誕生である▼「プロ野球の監督なんてなかなかない。しかも、自分が赴いた東北の球団。縁というほかない」と都甲さん。渡辺直人選手（38）も旧大田村（現杵築市）の小学校に在籍していた。「杵築は今、九州で一番、楽天ファンが多い街です」。8月29日の試合は「杵築市デー」と銘打ち、特産のミカンなどをPRする。市は予算540万円を計上した▼唐桑町の熊谷つや子さん（81）は、夫の清次郎さん（82）と観戦した。つやさんは杵築の職員の姿を覚えている。「地区の若者が出払っている中、救援物資を運んでくれた。子どもたちの相手もしてくれ」▼試合後は平石監督から「被災して大変だったと思う。試合に勝って皆さんに元気を届けたい」と激励された。「ありがたい。杵築の人に感謝したい」。優勝して日本シリーズで応援を。共にカキの産地でもある杵築、唐桑の人たちの願いだ。

一般会計補正予算

2億6,930万6千円を追加
補正後の予算総額は203億5,930万6千円

補正予算の主な事業

小規模集落・里の暮らし事業 127万円

(向野地区、上地区住民自治協議会の事業費を補助する経費)

コミュニティ助成事業 1,560万円

(藤の川区コミュニティセンターの建設、馬場尾区自主防災組織の災害用資機材等の購入経費)

2019プレミアム付商品券事業 5,902万円

(プレミアム商品券を発行するための経費)

自立支援給付金事業 239万円

(母子家庭の母、父子家庭の父の資格取得を支援するための経費)

新時代の水田農業低コスト化対策事業 375万円

(規模拡大及び低コスト化に必要な機械の導入を支援する経費)

観光振興事業 110万円

(マスコットキャラクター「きつみん」の着ぐるみ制作の経費)

B & G 海洋センター維持管理費 3,217万円

(体育館改修工事、運動場照明器具更新工事の経費)

令和元年 第2回定例会

6月議会の概要

会期は5月29日から6月20日までの23日間。令和元年度一般会計補正予算案や条例改正案52件、同意1件、報告1件が上程され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、同意、承認しました。また議員発議による意見書案3件と議会活性化特別委員会、市民会館調査特別委員会の設置を可決し閉会いたしました。

主な議案

条例

杵築市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

(小学校に就学している児童で、保護者が労働等により昼間家庭にいないものに授業の終了後、児童館等の施設を利用し適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る事業の基準を見直すため、所要の改正を行うもの)

その他

新市建設計画の変更について

(東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、合併特例事業推進要綱の一部が改正され、合併特例債の適用期間が5年間延長されたことから計画の変更を行うもの)

発議

義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

大分自動車道及び東九州自動車道の濃霧対策に関する意見書

令和元年 第2回定例会 議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提出議案〕		
63	令和元年度杵築市一般会計補正予算（第1号）	可決
64	令和元年度杵築市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第1号）	可決
65	令和元年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
66	令和元年度杵築市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
67	令和元年度杵築市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
68	令和元年度杵築市立山香病院事業会計補正予算（第1号）	可決
69	杵築市ケーブルネットワーク施設条例の一部改正について	可決
70	杵築市上地区交流拠点施設条例の一部改正について	可決
71	杵築市コミュニティセンター条例の一部改正について	可決
72	杵築市山香ふれあい広場条例の一部改正について	可決
73	杵築市税条例等の一部改正について	可決
74	杵築市行政財産使用料条例の一部改正について	可決
75	杵築市山香温泉センター（神塩温泉）条例の一部改正について	可決
76	杵築市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
77	杵築市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
78	杵築市健康推進館条例の一部改正について	可決
79	杵築市平尾台住宅団地汚水処理場条例の一部改正について	可決
80	杵築市簡易水道事業給水条例の一部改正について	可決
81	杵築市介護保険条例の一部改正について	可決
82	杵築市山香温泉風の郷条例の一部改正について	可決
83	杵築市農業集落排水施設条例の一部改正について	可決
84	杵築市家畜診療使用料条例の一部改正について	可決
85	杵築市漁港管理条例の一部改正について	可決
86	杵築市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決
87	杵築市営住宅条例の一部改正について	可決
88	杵築市営住宅給水施設条例の制定について	可決
89	杵築市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	可決
90	杵築市定住促進住宅条例の一部改正について	可決
91	杵築市都市公園条例の一部改正について	可決
92	杵築市公共下水道条例の一部改正について	可決
93	杵築市立図書館及び杵築市立民俗資料館条例の一部改正について	可決
94	杵築市立山香工房（夢楽房）条例の一部改正について	可決
95	杵築市きつき城下町資料館条例の一部改正について	可決
96	杵築市杵築城条例の一部改正について	可決
97	杵築市大原邸条例の一部改正について	可決
98	杵築市佐野家条例の一部改正について	可決
99	杵築市重光家条例の一部改正について	可決
100	杵築市磯矢邸条例の一部改正について	可決
101	杵築市B & G 海洋センター条例の一部改正について	可決
102	杵築市文化体育館条例の一部改正について	可決
103	杵築市水道事業給水条例の一部改正について	可決
104	杵築市工業用水道事業給水条例の一部改正について	可決
105	杵築市立山香病院事業に係る料金条例の一部改正について	可決
106	新市建設計画の変更について	可決
107	市道の路線認定について	可決
12	繰越明許費繰越計算書について（平成30年度杵築市一般会計）	報告
13	繰越明許費繰越計算書について（平成30年度杵築市公共下水道事業特別会計）	報告
14	繰越明許費繰越計算書について（平成30年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計）	報告
15	繰越計算書について（平成30年度杵築市水道事業会計）	報告
〔追加議案〕		
108	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
16	専決処分の承認を求めることについて（訴えの変更）	承認
17	専決処分の報告について	報告
18	一般財団法人杵築市総合振興センターの経営状況について	報告
19	公益社団法人杵築市地域活性化センターの経営状況について	報告
20	株式会社きつとすきの経営状況について	報告
〔議員提出議案〕		
2	義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書	可決
3	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	可決
4	大分自動車道及び東九州自動車道の濃霧対策に関する意見書	可決
〔付議事件〕		
	議会活性化特別委員会の設置及び委員の選任について	可決
	市民会館調査特別委員会の設置及び委員の選任について	可決
	閉会中各委員会の継続審査について	可決
	議員派遣について	可決
〔請願・陳情〕		
7	東大内山の市道編入について	採択
8	南杵築（東下司区）の市道編入について	採択
9	守江鍋倉地区道路の市道編入について	採択
10	西大内山区内道路の市道編入について	採択
12	市道茅場狐平線道路の改修について	採択
13	山香町下四区内の道路の市道編入について	採択
13	市立山香中学校スクールバスの運行について	継続

一般質問

Q & A



令和元年第2回市議会定例会では、6月3日・4日の2日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、11人の議員が諸問題について質問しました。

(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



とみく せいいち
富来 征一 議員

水田農業と集落営農について

議員 減反政策の開始時期はいつか。

農林課長 米の生産調整の開始は昭和44年から。昭和46年より本格的に実施され、平成30年度に終了した(49年間実施された)。

議員 減反開始時の大分県の水田面積は。

農林課長 5万450haである。

議員 減反廃止後(平成30年度)の県内中山間地の状況、また荒廃地の面積はどのように変化しているのか。

農林課長 統計結果がまだ出ていない。

議員 県内中山間地の水田農業の対応方針について。

農林課長 規模拡大が困難な中山間地域において特色ある米作りを進め、園芸品目等を加えた多角化等への誘導を進め、集落営農組織等への農地集積を図る。県、市では集落営農組織を核に組織から質(経営力)へ、集落から地域へ、地域農業を守る構造改革を積極的に推進していく。

具体的には園芸品目の導入、経営の多角化、効率的な営農体制を目指し法人間の連携や再編統合を進める。また担い手不足集落を含む広域エリアをカバーし、担い手の効率的な営農就業支援、地域農業をサポートする組織を育成する。既に地域活性化センターを核とした地域農業経営サポート機構が設立されている。

議員 今後の法面管理の対応について。

農林課長 センチピード、草刈ロボット等の畦畔管理省力化技術を推進していきたい。

議員 大分県の米生産に係る労働時間はどれくらいか。

農林課長 平成28年産の労働時間は10aあたり31.73時間、全国では10aあたり23.76時間。九州では23.76時間である。

議員 農機具の買替時に補助事業がなく大きな出費となっている。営農組織、法人組織については補助事業の制度を設けてほしい。

農林課長 今後機会ある毎に国県に要望していきたい。



おの よしみ
小野 義美議員

旧山香農業高校跡地活用について

議員 遊休農地や施設の現状は。

農林課長 西側農地、宿舍棟、グラウンド等。

議員 県より取得し農業振興等に活用しては。

農林課長 県は売却予定であり、市が取得要望をして譲渡に向けた協議を行う。

市長 農業振興に向けた実験の場や農福連携の場等に活用したい。早急に県教委、県の農林水産部等に話しを詰めたい。

スクールバスについて

議員 小中学校の運行状況は。

教育総務課長 山香小は6台で東山香2台、上2台、山浦1台、向野1台の6コース。大田小は2台で田原1台、朝田1台の2コース。山香中は5台で、上1台、山浦1台、立石向野1台、田原1台、朝田1台の5コースである。

議員 転入生等で、年度途中でのコース変更は。

教育総務課長 その都度対応をする。

議員 東山香地区は中学校

コースが無いが、現中学は旧中学校より1.5kmほど遠くなり、登下校の送迎に大変苦慮している。部活動の下校等には非対応できないか。

教育総務課長 コミュニティバ

スの無料券を配付しているが下校対応等ができていない。今後調査検討したい。

農業問題について

議員 高齢農業者等の農産物の集荷対策は。

農林課長 集荷システム事業の創設について検討を行う。

議員 薬用植物の一般栽培への推進は。

農林課長 協会の指導及び県の協力をもらいながら進めたい。

議員 新農林課長の杵築市の農業振興の想いは。

農林課長 担い手不足の中「新規就業経営体支援課」での経験を活かし、ヒトづくり、そしてモノづくりに努めたい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



にのみやけんたろう
二宮 健太郎議員

道の駅整備について

議員 道の駅整備計画の進捗状況は。

政策推進課長 平成26年から検討。杵築インター付近の交通状況調査をし、整備予定地周辺の建築物や施設等の配置、運営にかかわる概算事業費などの調査算出を行った。事業費は県施設の解体・移設費用が約3億1,600万円、物産販売等・トイレ棟建設費6億4,200万円の総額10億7,000万円。市の負担額が約6億8,000万円となる。運営収支試算は販売収入が約1億6,400万円。支出が約1億6,100万円。市の負担は年間1,000万円となる。

議員 地域連携や国道213号の振興につながる取り組みを考えているか。

政策推進課長 既存の「杵築ふるさと産業館」を活用し商品力の向上や販売強化を行う。また地域商社様きつとすきと連携し杵築ブランド認定品を福岡や関

西圏の百貨店・レストラン・居酒屋などへ取引ができるようにしていきたい。

議員 今回事業中止を決めた道の駅整備を計画するにあたってどのぐらいの予算を使ったのか。

政策推進課長 平成28年度の調査費が1,549万円（国の補助金1,300万）調査会社は（株）日本総合研究所。平成30年度が1,323万円（国の補助金611万）調査会社は復建調査設計（株）。

議員 あの場合にこだわり無駄にお金を使い簡単に中止するのはいかがなものか。市長のやる気を疑う。

図書館事業について

議員 図書館の利用状況と管理運営体制について。

図書館長 平成30年3月から平成31年4月時点で利用者数3万8,347人、貸出者15万5,310冊、入館者数は5月25日に10万人に達した。諮問機関に杵築市立図書館協議会を設置。年2・3回の事業報告会を開いている。



ふじもと しろ
藤本 治郎議員

市民会館建設について

議員 市民会館建設に前向きな検討をしないのか。

財政課長 財政状況が厳しい。主要公共施設も老朽化し、個別対応は不可能。整備を必要とする施設との複合施設として検討する方が現実的。

議員 ぜひ検討してほしい。そのためにも市民会館に対する目的基金の創設をすべきではないか。

市長 市民ニーズの充足を図るに複合施設しかない。特定目的基金の創設と施設の在り方や場所を進めていく。

議員 ぜひ実現に向けて早期に検討実施してほしい。

給食センターと給食費について

議員 稼働の時期は。

教育総務課長 来年2学期から供用開始予定。同時に市立幼稚園にも配食する。

議員 給食費の全体予算は。

教育総務課長 保護者負担分8,163万6,800円と援助分1,966万3,600円で計1億1,030万4,000円、諸経費を合わせ合計約2億3,230万円。

議員 センターも一本化し経

費も下がる。豊後高田市が既に実施している給食費無償化はできないのか。

教育総務課長 厳しい状況なので毎年経費を捻出できない。無償化は困難。

議員 「ふるさと納税」を活用すれば可能ではないか。この益金を子ども達のために使う目的税として活用してほしい。

市立幼稚園の今後について

議員 今年の入園児の状況は。

教育総務課長 入園児は4歳児10名、5歳児13名の計23名、幼稚園別園児数は杵築29名、大内11名、東3名、八坂5名、北杵築4名、守江4名で計56名。

議員 幼稚園児減少とこども園の関係は。

教育総務課長 平成27年にこども園が始まり、15時以降の預かりや土曜日・長期休暇への対応ができず減少した。

議員 今後の対応は。

教育総務課長 教育委員会と幼稚園で会議をもち、10月1日の幼児教育無償化に合わせアクションを起こす。

議員 原因がわかるなら、10月と言わず2学期から始めてほしい。

人口減対策について

議員 人口や出生児数の推計より現状の減少が激しい。移住定住策にチカラを入れ取組んでほしいと質問した。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



かき たかし
加来 喬議員

子育て世帯の負担軽減について

議員 子育て世帯の負担軽減について4点質問する。18歳まで医療費を無料にするにはいく

ら必要か。

子ども子育て支援課長 年間1,400万円程度。高校生まで拡大した場合の財源や費用対効果については検証したい。

議員 中学生の教材で14,000円もする物があると聞いたが必要なのか。

教育総務課長 高校受験の新研究という副教材で、必要と判断し保護者の同意を得ている。

議員 必要な教材は無償にすべきでは。

教育総務課長 教科書は法律で無償だが、その他の必要な教材は有償と認識している。

議員 小・中学生の修学旅行費はいくらか。また、修学旅行費を無償にするにはどれだけ必要か。

教育総務課長 小学生は1人約

2万円、中学生は1人約7万円。無償化した場合約2,150万円必要。

議員 給食費を無償化するには、幼稚園を含んで8,500万円必要という答弁があった。子育て世帯の負担軽減の財源はふるさと納税を活用してほしいが、豊後高田市に比べて杵築市はPRが不十分。今回提案する子育て支援を全部行えば1億7,000万円必要。これをふるさと納税で全部実施してほしいとは言わないが、一つでも、もしくは無償化ではなく半額補助や3割補助でも取り組むという姿勢を示すことが魅力あるまちづくりを進めていく上で重要と思う。市として検討し、取り組んでいく考えは。

市長 豊後高田の事例はすぐ参考になる。さっそく取り入れたい。ただ、ふるさと納税も3億の目標を実現させたいが、不透明。自主財源の確保に努力し、御提示の政策に取り組める余分が出てくれば検討したい。



あべ もとなり
阿部 素也議員

市社会福祉協議会について

議員 社協の山香の窓口はどんなになっているのか。

福祉推進課長 3名の職員が年度末で退職し、新年度からの職員配置ができていない。6月からは配置予定。

議員 3名の退職者はどういった理由で辞めたのか。

福祉推進課長 市として答える立場にない。

議員 3名の方が一度に辞められたことを市としてどうとらえているか。

福祉推進課長 市として答える立場にない。

議員 赤字解消のための改善計画によるものでは。

福祉推進課長 答えは控える。

議員 退職は改善計画によるものだと考えているが、その計画に市は関与している。計画は妥当なものなのか。

福祉推進課長 妥当と考えている。

議員 これまでも退職勧奨

に応じて多くの職員が辞めている。そうした方たちのためにも社協を良いものにしなければならぬ。市長の考えは。

市長 現在改善計画を実施している。介護保険事業をやる地域福祉が手薄になる。地域の課題を把握して早期に介入し、地域福祉や地域づくりが見えるように真剣に頑張る。

地元管理の飲用水道について

議員 住民の皆さん独自で管理されている水道では、過疎・高齢化や老朽化の影響等で、今後の維持管理が心配される。調査をする必要があるのでは。

生活環境課長 今年度、全組合の実態調査を新たに行い、その結果を今後の施設維持等の対応に活かしていきたい。

議員 少なくとも今後10年くらいの運営維持の目的が立っているかどうかなどの項目を入れてほしい。

その他の質問

- ・学校の先哲教育について
- ・公民館と住民自治協議会について
- ・高齢者の交通事故について

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



たはら ゆうじ
田原 祐二議員

ふるさと産業館について

議員 「道の駅」の建設が難しいようであれば、「杵築ふるさと産業館」を道の駅として利用しただろうか。

政策推進課長 「ふるさと産業館」は、里の駅として住民や観光客に杵築ブランド認定品などの商品や土産品を販売する総合土産品店の役割を果たしている。道の駅に切り替えることは難しいと思うが、引き続き、道の駅と同じような役割で事業を行っていく。

議員 「杵築ふるさと産業館」を道の駅のような物産販売所にするには、どのような対策、整備が必要か。

政策推進課長 販売する商品の商品力の向上がとても重要であり、広報宣伝や販売力の強化を行うとともに、売り場の拡張や拡充などを行っていく必要がある。商工観光課などと連携し、整備に向けた協議を重ねて参

たい。

宿泊施設について

議員 当市は、観光客のための宿泊施設が少ない。建設等の予定があまり無いのなら、空き家の活用や、農業民泊等を推進したらどうか。

商工観光課長 空き家を宿泊業とする活用方法は色々あるがこうした民泊をインターネットを利用して、世界中に安心・安全のサービスを提供している業者も増えているので、所有者の方のニーズに沿った方法を検討していたければ良い。市としても情報提供や相談をしていきたい。また、大分県の文化・自然等を味わうことのできる民泊場所「農村民泊」の中で、農村民泊家庭への支援、セミナーの実施などが行われている。こうした情報を山香グリーンツーリズム研究会と連携しながら、農家民泊の推進を行っていきたい。

その他の質問

- ・魅力あるまちづくりについて
- ・高齢者の口腔ケアについて
- ・税金の滞納について



こはる
小春 稔 議員

ジェイデバイス杵築工場閉鎖 による影響額について

議員 法人税、固定資産税、償却資産税の影響額は。

商工観光課長 法人市民税が平均1,200万円、固定資産税が2,500万円、水道料が平均3,100万円で合計6,800万円。

議員 従業員の税徴収影響額は。

商工観光課長 平均して2,900万円。

観光事業の推進について

議員 空港道路上下線に城下町観光の広告塔を設置して入り込みを図るべきではないか。

商工観光課長 観光協会が国道10号に設置して宣伝広告を行っており、その費用対効果を踏まえて調査検討をしていきたい。

議員 城下町観光に引き込むために、杵築インターに観光案内所の設置を急ぐべきではないか。「株きっとすき」もここに設置したらどうか。

商工観光課長 インターに道の

駅設置を検討していた際は考えていた。今後の状況を見てインターから城下町へ引き込む手段を検討していきたい。

議員 城下町観光を更に増加するための今後の戦略について。食や泊を伴わない観光がほとんどである。今後の対策については。

商工観光課長 現在、「杵築まち歩きプラン」という新しい取組みを観光協会が今月から実施する予定。宿泊に関しては現在「城下町のまちづくり構想」の素案を市の関係課や関係団体で検討しており、今年8月末までに取りまとめる予定である。その中で城下町地区の宿泊施設の在り方について取りあげていきたい。

議員 杵築市に書店がなくなり市民が大変不便さを感じていると多くの声を聞く。別府や大分まで行かないと希望する書籍が手に入らない現実がある。市はどう考えているのか。

図書館長 図書館としては市民からニーズがあるものを、市民の役立つと思われるものをバリエーション豊かに取り揃え、市民がいろいろな本に触れ合える機会を提供していきたい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



たなか しょういち
田中 正治 議員

里道の管理について

議員 里道の管理は。

建設課長 里道は国有地に分類されているが、維持管理については地域密着型で、地区住民の公共の用に供しているので地区（地域）管理をお願いしている。

健康福祉センターグラウンドの照明について

議員 健康福祉センターグラウンドの照明について。

健康長寿あんしん課長 平成25年度に水銀灯2基（4灯）を増設、240万円の費用を掛けた。増設をしたがソフトボールは照度不足であるので市民球場を利用してもらう。

議員 新たに照明設備の増設計画は。

健康長寿あんしん課長 照明設備の新計画（増設を含め）は考えていない。

議員 平成30年9月議会で前任課長は「照度測定結果、内野・外野ともに場所によって明るさが違う。細かく照度調整を行い、利用目的に応じた対応をとって

いきたいと考えている。」と答弁している。前向きな検討をお願いしたい。

循環バスについて

議員 高齢者が運転免許証を返納して買物や通院等日常生活に困っている。「福祉バス」等対応はできないか。

政策推進課長 「福祉バス」は身障者や要介護者の方々のうち、会員登録を行った方に玄関先から目的地まで個別輸送を有償で行うものである。現行の循環バスを含めコミュニティバスの運行については、市が有償で交通空白区域の住民の輸送を行う交通空白輸送になる。これからも交通不便地域が解消されるよう、地域公共交通網の形成を図っていく。

道の駅の調査結果と今後の見通しについて

議員 道の駅調査結果と今後の見通しについて。

政策推進課長 道の駅整備については一時中止する。理由は財政状況だが、今後可能性を探っていきたい。

議員 杵築市活性化のためにも是非前向きに、小さくても良いので検討願いたい。



まなべ きみひろ
真鍋 公博議員

水産振興について

議員 漁業関係者全員に聞き取り調査を実施したらどうか。それを基礎として、現状分析と今後の数値目標を掲げた水産振興計画を作成してもらいたいと思うが。

耕地水産課長 漁協の意見や漁業関係者の話を聞きながら、水産振興計画を作成したいと考えている。今後、水産資源の増大、漁業経営の安定を図るため、県、漁協、市が一体となり、漁業関係者と連携を密にして、各種事業を進めることにより、杵築市の水産振興に努めていきたい。

子育て支援について

議員 屋内施設について、空き店舗や空き校舎の活用も含め、特に「杵築市公共施設等総合管理計画」の中で、ぜひ議論をして、実現化してもらいたいと思うが。

子ども子育て支援課長 余裕のある公共施設や空き店舗なども視野に入れ、市の関係部署とも協議しながら、杵築市版の屋内施設を調査研究していきたい。

企業誘致の考え方について

議員 商工観光課だけではなく、市の関係部署全体で協議する場を設けてもらい、製造業以外の誘致、そして、「味」や「匠」の継承を応援していくべきではないか。

商工観光課長 都市計画や移住・定住、観光、中小企業施策等多岐にわたる課題であり、関係部署と、政策調整会議の中で十分な議論をしながら、杵築市にないものを誘致、杵築市に今あるもので、次世代に継承するものを積極的に取り組んでいきたい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



ほり のりよし
堀 典義議員

人口減少対策について

議員 人口減少の原因について。

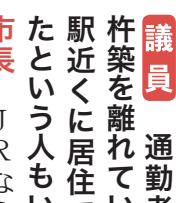
協働のまちづくり課長 平成30年の人口推計で、人口減少は自然減を除くと社会減は、特に県内への転出が要因になっている。

議員 大分市・別府市・日出町への人口流出が多く、最近日出町に転出する人が増加している。またJRの利用者を見ると日出陽谷駅は増加し、杵築駅は減少傾向にある。杵築駅周辺に通勤に便利な住宅地など市街地の形成が欠かせない。

政策推進課長 立地適正化計画では公共交通網の利便性が高く、今後も良好な居住環境が維持できる区域に居住誘導していく。JR杵築駅から上本庄区にかけての八坂地区はその条件に適合している。

議員 都市計画は多額の費用がかかる。この有利な立地適正化計画を利用することが必須。公表はいつか。

政策推進課長 12月までには公表したい。



前田 白郎市長

議員 通勤者が結婚や転勤で杵築を離れていくのを見てきた。駅近くに居住できれば通勤できたという人もいた。

市長 JRなら上りも下りも渋滞に巻き込まれなくて、定時に着く。八坂地区の開発という事にしても必要であると思う。

幼児保育の無償化について

議員 実施時期はいつか。
子ども子育て支援課長 本年10月1日から開始する。

議員 幼稚園の預かり保育実施は。

教育総務課長 幼児教育無償化に合わせ何らかの形で実施したい。

野上邸跡地について

議員 観光振興のため、野上邸跡地の検討状況について伺う。

政策推進課長 現在、別府市のホテルと話を進めている。

議員 いくつかの協議が整うのか。

政策推進課長 本市の「城下町まちづくり構想案」を作成中。それを政府系金融機関に提示し、その結果で次の段階に入る。

その他の質問

・道の駅について
・国の職員の人事異動について



議員勤続表彰

全国市議会議長会第95回定期総会が、去る6月11日に東京国際フォーラムで開催され、真砂矩男議員が在職35年表彰を、加来喬議員が在職15年表彰を受けました。



真砂矩男 議員

【初当選年月・当選回数】

昭和58年10月・10回

【議員経歴】

市議会議長

別杵速見地域広域市町村圏

事務組合議会副議長

【現在】

厚生文教常任委員会委員

市民会館調査特別委員会委員長

議会運営委員会委員

別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会議員



加来 喬 議員

【初当選年月・当選回数】

平成15年10月・5回

【議員経歴】

市議会副議長

【現在】

厚生文教常任委員会委員

市民会館調査特別委員会委員

杵築速見環境浄化組合議会副議長

議員人権研修会を開催

6月20日、第2回定例会終了後、学校教育課人権教育推進委員 帯刀浩至氏を講師に、人権研修会を開催しました。「杵築藩浅黄半襟逃散一揆の歴史と背景」をテーマとして、差別の本当の苦しさ、人々の知恵と勇気と団結を学習しました。



令和元年 第3回定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

9月 3日 (火) 開会

9月 5日 (木) 一般質問

9月 6日 (金) 一般質問・議案質疑

9月 9日 (月) 一般質問予備日

9月10日 (火) 決算特別委員会

9月11日 (水) 決算特別委員会

9月12日 (木) 産業建設常任委員会

9月13日 (金) 厚生文教常任委員会

9月17日 (火) 総務常任委員会

9月19日 (木) 閉会

一般質問の再放送は、一般質問が行われた週の土日に放映されます。

広報広聴委員会

委員長 田原 祐二

梅雨もあけ、厳しい暑さの続く今日この頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか。くれぐれも適度な水分補給をし、熱中症には十分注意していただきたいと思っています。さて、広報広聴委員長として2度目の本紙発行となりました。今回は、「特集」ということなので、何を掲載するか、委員の方と試行錯誤した結果、現在、全国各地で取り組まれている「子ども食堂」について特集を組むことにしました。利用状況や子ども達の反応など、取材を通して学んだことを掲載させていただいております。「子ども食堂」の実態を知る意味でも、ぜひ一読ください。今後も、皆様のお目に留まるような広報紙となるように日々努力してまいります。皆様方からご意見・ご要望があればお気軽にお申し付けください。最後に、市民の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

編集後記